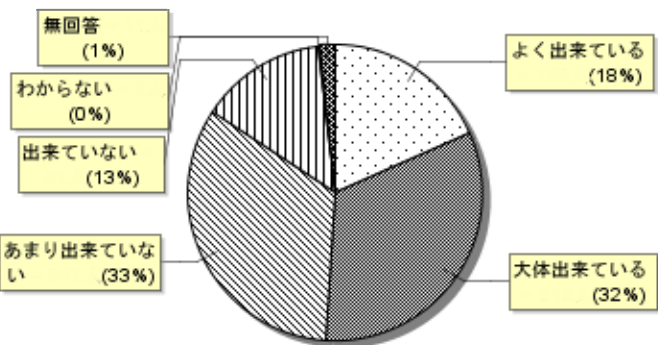


①子どもに基礎的な学力が身につくこと ②自分から進んで学習する子に育つこと  
③自分の思いを伝えることができること ④教師がわかりやすい授業を工夫すること  
⑤家庭学習に進んで取り組む習慣がつくこと ⑥読書の習慣が身についていること  
⑦楽しく学校に通っていること ⑧物事の良し悪しを判断して行動できること  
⑨元気よくあいさつができること ⑩きまりや約束を守って生活すること  
⑪思いやりの心が育つこと ⑫基本的生活習慣が身につくこと  
⑬学校の考えが保護者に伝わること ⑭学校 HP やお便りで学校の様子がわかること  
⑮担任や学校に相談できること ⑯学校が開かれた教育活動を進めていること

読書の習慣が身についていること

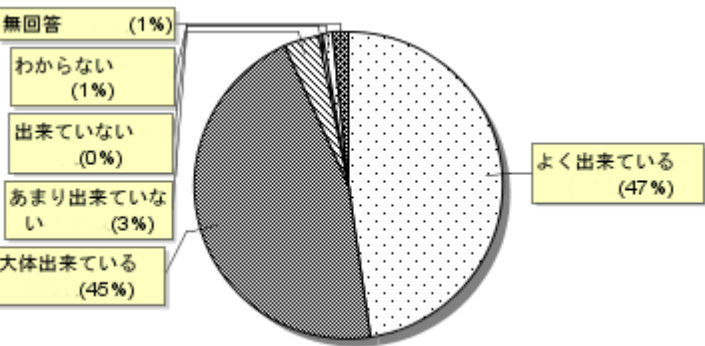
保護者の方は読書の大切さを感じておられますが、本をたくさん読んでいると回答した児童はおよそ7割、保護者の回答は5割でした。学校では継続して読書の指導をしており、朝学習の時間は静かに本を読む児童に育ってきています。ただ、本の内容については学年の発達に応じて見直す必要があると思います。

これまでの生活アンケートによる「テレビを見たりする時間」が2時間以上と回答した児童が低学年では3割、中学年では5割、高学年では7割にも及び、しかも、どの学年も時間を決めて見るよりも自由に見ている児童が6割という結果から、家庭での学習や読書の時間の位置づけが気になるところです。読書は「自問自答の世界」「知識の蓄積」であると言われています。ぜひ、読書する習慣を身に付けていってほしいと思います。



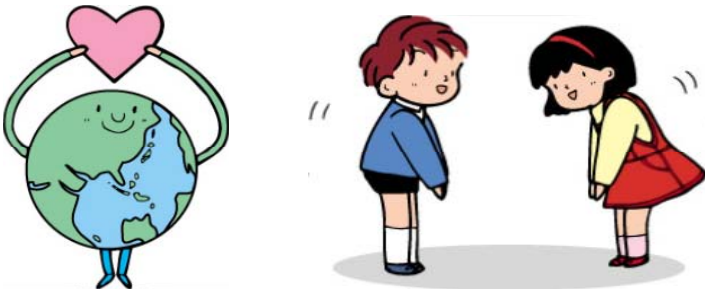
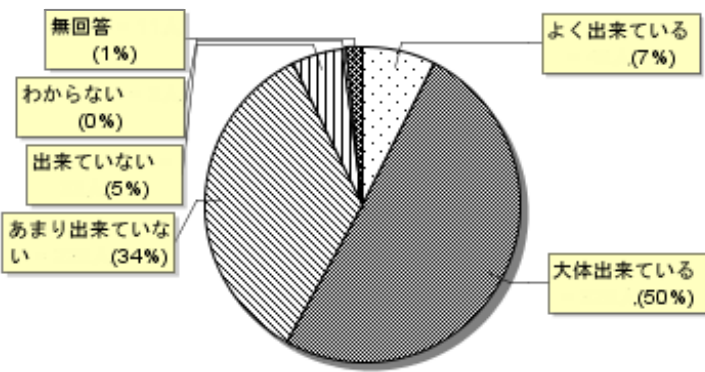
楽しく学校に通っていること

楽しく通っていると回答した児童は8割、保護者の方からの回答は9割を上回っていました。学校が楽しいことが何よりも大事なことで、とても嬉しいことだと思います。「学校が楽しいと感じるのはどういうところ？」と聞くと、共通して返ってくることは「友達と遊んだり話したりすること！」です。学校としては、一人ひとりが大切にされる集団づくりを基盤に、互いの思いを受け止め、認め合う子どもの育成に全力をあげて取り組んでいきます。



自分から進んで学習する子に育つこと

大変重要な課題ではありますが、保護者の方は、まだ十分ではないと考えられています。基礎的な学力はほぼ身についてきたと思われる方が多いにも関わらず自分で計画的に学習し、よく考え、粘り強く取り組む力が育ちきっていないということだと受け止めています。児童へのアンケートでも5割の子どもが「進んで発表する」ことがあまりできていないと回答、4割の子どもが「分からない時には質問したり調べたりして解決している」ことがあまりできていないと回答しています。簡単なことや単純なものはとりかかるけれども、難しいことはあきらめがち、時間がかかりそうなものには面倒がる傾向があるのかもしれません。毎日の学習の中で、教科書、ノート、資料などに目を通し、もう一度、習ったことを振り返ることが大切だと考えます。そのためにも、テレビを見る、ゲームをする時間を決め、落ち着いて机に向かう時間を確保し、学習効果を高めていってほしいと思います。



自由記述欄より

教育環境について

トイレについてのご指摘をいただきました。洋式トイレの設置をはじめ、壁の塗り替えなどを行ってきました。使用するマナーについても指導し、トイレ清掃にも力を入れています。まだ、十分ではありませんが、引き続き改善に力を入れていきたいと考えています。教育委員会においても洋式トイレを増やす計画を進めてもらっています。

6年卒業遠足廃止について

「今年は実施されないということがとても残念です」というご意見をいただきました。子どもたちが楽しみにしていた行事ではありますが、昨今の社会状況を考慮し、保護者の経費負担削減を図るために、本校としましてもやむを得ず本年度から廃止することとしました。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

あいさつについて

「登下校時に『おはようございます』『お帰りなさい』と声をかけてもあいさつを返してくれる子どもが少なく、安全に気を付けて歩くよう注意しても聞かない子どもがいます」とのお声をいただきました。あいさつの大切さについては学校だよりでお知らせしていますが、粘り強く取り組んでいきたいと思っています。また、地域の人との関わりについても、注意されたことには素直な心で改めることができる子どもに育てていきたいと思っています。

規範意識の大切さについて

「子どもの身勝手な行動に対しては、学校や親が毅然とした態度で厳しく指導やしつけをする必要がある」とのご指摘をいただきました。将来社会人として自立した生活を送っていくために、子どもの時期に規範意識を身に付けておくことがとても大切です。気になる行いであればその場で注意することが大切だと思います。ただし、一方的に頭ごなしに叱るのではなく、何が良くなかったのか、どうしてだめなのかを子どもに理解させることが大事だと思います。納得し、自分の行いに責任をもつ子どもに育てていきたいと思っています。そのためにも、学校の様子をホームページやメール配信、学級だよりなどで積極的に発信し、保護者や地域の方に理解と協力を図っていききたいと考えます。